

誰にも見られない行いと、そして明らかにされた恩

イエスの正面に立っていた百人隊長は、イエスがこのように息を引き取られたのを見て、
「この方はまことに神の子であつた」と言った。 マルコ 15:39

他人からの賞賛を求めるために行うのは、間違った動機です。クリスチャンは、良いことが行われることに関心があります。賞賛は欲しがるものではないのです。信仰者は、神は全てのことを見ておられ、秘密裏になされたこともいずれ報われる、ということを知っています。

祈り 愛の神様。私たちの虚栄心、人の賞賛を得ることへの自分勝手な思いをどうか赦してください。何よりもあなたの思いに見合うことを求め続けることが出来ますように助けてください。

F・ファーマン・ケアリー 1972年

御茶の水キリストの教会

今日の力

5月26日(火)

期待していなかったときの喜び

聖書朗読 マタイ 6:25～34

だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。 マタイ 6:33

私が幼かったころ、日頃のお手伝いの一つは、町の角にあるスーパーマーケットに行くことでした。時々、私はお菓子を買うための5セント硬貨を持っていきました。ジャブレイカー（お菓子のブランドの一つ）やリコリス棒菓子が自分で買えるなんて、幼かった私にとってなんとという楽しみだったでしょうか！ ある日、私がペニー（1セント）を全て使ってしまった後、目をばちくりさせた白ひげのグリシムおじさんが、シナモンキャンディーが入った箱に手を伸ばし、その中のいくつかを私のブラウンバッグの中に入れました。そして、おじさんは「はいよ、これ。おまけだよ」と言いました。

「おまけ！」だなんて、とってもわくわくする言葉ではないではありませんか？ それは、不意にやってくるともうれしい気持ちではありませんか？

イエス様もこのような表現を使われました。「神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。神のために、生きなさい。神様はあなたのことを必ず養ってくださいます」と。

時間や賜物を神様のために使うことで、それ以上に価値あるものが与えられるでしょう。

讚美歌 第二編 57

祈り　おお、神よ。あなたの豊かな恵みを見る以上の信仰を持つことが出来るように
 助けてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジェイムス・O・ベイアード 1965年

5月27日(水)

頑丈な土台の上に家を建てる

聖書朗読 マタイ 7:24～29

だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行う者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。・・・また、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行わない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができます。

マタイ 7:24, 26

娘がうれしそうにピアノを弾くのが聞こえます。いつものように、彼女は「ドレミファソラシド」の練習から始めました。最近、彼女は「お母さん、もしピアノを弾くことを知らなかったら、私はいったい何をしていたんでしょうね？」と言いました。ピアノを弾くことは、娘にとって自分を表現することの一つの方法として、大切なものとなっています。彼女は、そのやるだけではなく、彼女にとって重要な一部になるということを選び取ったのです。何か、私たちにとって大切な価値のあるものになった時に、それは、また私たちの人生の強固な土台になります。

今日のみことばは、「聖書の言葉は、人生の土台になるのだけではない」ということを語っています。つまり、それは私たちを賢くさせるということです。反対に、もし私たちが良くないことを聞き、それを選び取るなら、それは砂の上の家のようになり、人生の一部にはならないのです。

作家のベンジャミン・ブルームは、「自分から積極的に聞き、実行し、好きになり、選び取るということを価値づける人は、いずれそのような人になるだろう」と言っています。私たちが神様のみことばに応答するということは、私たちの人生が岩の土台に、賢く建てられるのだということを、神様が明らかに示していच्छいます。

讚美歌 304

祈り 愛の父よ。私たちがみことばを慕い求めることによって、その教えを「実践すること」だけに満足し終わるのではなく、いつもみことばを実践する全人的な人間になることが出来ますように。あなたの素晴らしい知恵に感謝します。

あなたの息子の名前によって祈ります。アーメン。

スーザン・K・ギボニー 1981年

5月28日(木)

豊かな人生の収穫のために

聖書朗読 マタイ 13:18～30

そして、彼らに言われた。「実りは多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主は、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」 ルカ 10:2

あのとても暑かった夏、私は自分の庭が全部だめになってしまうだろうと思って、あきらめてしまいました。暑い日に、草花がしぼんでしまったり、枯れてしまったりした庭を眺めるのはなんと悲しいことでしょう。しかも、その後、激しい雨や雹の嵐がやってきて、とても小さい草花の芽まで打ちのめしてしまったのです。

しかし、秋になると、なんとという収穫でしょう。なんと、私たちの冷蔵庫は素晴らしい野菜でいっぱいになり、知人たちに分けることさえ出来るようになりました。

私たちの人生が、いかに私の庭のようであるか、知っていますか？ 私たちの人生には、しばしば嵐や困難がやってきます。私たちは、それらを打ち負かすことが出来るとは到底思えません。私たちは、落ち込み、悲しみにくれて、人生の嵐にやられてしまうと思ひ込んでしまいます。

しかし、その後、収穫の時がやってきます。もし私たちが諦めずに良いことをするためにうんざり落ち込まなければ、ある適切なときが来れば、必ず、私たちは収穫を得ることが出来るでしょう、と神様は約束されます。

私たちは、誰かのために、希望と信仰の一粒の種を蒔かなければならないでしょう。そして、また別の誰かがやってきて、その信仰と希望に水をやるでしょう。そして、もし愛おしい植物が枯れそうになっても、ある日、神様は美しい魂をそこに吹き込むことでしょう。

讃美歌 504

祈り 神様、私たちが心身ともに疲れ果ててしまった時に、どうか私たちの目が内にも外にもあなたに留め続けていることが出来ますように、私の内にある力を奮い立たせてください。

イエス様の名前によって。アーメン。

ジョアン・クレイトン 1980年

5月29日(金)

見守っておられるイエス

聖書朗読 マタイ 15:21～39

あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。 I ペテロ 5:7

ワシントンDCの出身の方と散歩中、私たちは明らかに病気だと分かる一人の女性の側を通り過ぎました。私は立ち止まりましたが、私の同行者はこう言いました。「私はあなたがどこ出身か分かってる。君はまだ人助けをするために立ち止るんだね。ここはワシントンDCだよ。この人は他人なんだから」と。

しかし、無関心や無頓着は、州や国の境界線を知りません。それは、邪悪な人間がいるところに、存在します。自分に他人対するに関心がないからといって、他人の言葉に表現を見つけようとするからといって、無関心はある特定の言語を持ちません。無関心は周囲の人々の必要性に繊細に受け止めようとする気持ちを殺してしまう悪魔からの狡猾的な凶器です。

作家のキャサリン・アン・ポーターは、この状態を物語にしました。彼女は外見ではなく、魂にだけ関心を持った神父を描きました。サルトルもまた、人々の表面に決して関心を持たない人物を描きました。

マタイのメッセージもまた、こう言っています。「イエス様は見守っておられる」。イエス様は人々に関心を寄せ、一人ひとりを見守っておられます。主は、その女性の娘をあわれみ、癒されました。主は足の不自由な者、身体の不自由な者、目の見えない者を愛し、癒されました。そして主は、4000人以上の飢えた人々に食べ物を与えました。

イエス様の子どもたちは、いったい誰で、主の恵みを受ける者は、いったい誰なのでしょう。あなたではありませんか？

讃美歌 365

祈り お父様。どうか私が困っている方々に目を留めることができますように。どうか私の心と両手が、誰かの助けになることが出来ますように。イエス様のみ名を通して。アーメン。

ハワード・ノートン 1959年

5月30日(土)

互いに赦しあうということ

聖書朗読 マタイ 18:15～35

私たちの負いめをお赦しください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。
マタイ 6:12

私たちの信仰の中心には、あわれみがあります。それは、神の赦しの愛と、私たちの互いに赦しあう心のことです。今日の聖句には、三つのことが言われています。もしそれら三つのことが無視されたなら、私たちはすぐに意味のある人間関係を破壊してしまうことになるでしょう。

第一に、誰かが間違いを犯し、私たちの交わりを壊す者がいたら、私はその兄弟姉妹の元に直接行って、話す責任があります。しかし、しばしば、私たちは神様の意志を無視し、最初から人間的な思いで他人のところに行き、誤りを指摘することによって、神様の知恵を拒否してしまいます。

第二に、神の子どもとして、私は他人が必要としているなら、慈悲を施すということが必要です。

第三に、私の赦しは、心からでる本物でなければなりません。神の赦しを受けることで、誰かに与えようとする心が与えられるはずです。もし、私があわれみを求めながらも、誰かに慈愛の心を施すことができなければ、私は本当に自分勝手な者となってしまうでしょう。

私たちの神と他人に対する罪は、罪悪感を生み出します。赦しを受けて、罪悪感をきれいに消してもらうことは、私たちが受ける素晴らしい恵みの一つです。もし私たちが祝福されているなら、神様は、私たちが心から誰かを赦す時に、私たちが他人に与える恵みを理解することを助けてくださるでしょう。

共感、親切心、長い困難に耐えること、関心などは、あわれみの心のあるところに存在します。どうか神様が、私たちの心を寛大にしてくださって、7回でも70回でも赦すことが出来ますように。

讃美歌 537

祈り 天のお父様。あなたの寛大な赦しに感謝します。どうか私たちが罪を犯した人たちを赦すことが出来るように、私たちを助けてください。
イエス様の名によって祈ります。アーメン。

ロバート・H・ローランド 1959年

5月31日(日)

大切な一日一日

聖書朗読 マタイ 19:1～12

妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。・・・夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。
エペソ 5:22～25

私は、ある一人の男性が死んでいくのを見たことがあります。その医師が部屋を出ると、もう死にそうなその男性は、自分自身の「時」が来たことを悟りました。彼は妻の手を軽くたたく、こう彼女にささやきました。「君はずっと僕に優しくかったよね」と。彼は彼女を幸せにするために、彼の最後の一息を使いました。その短い一言は、彼女がずっと覚えていることが出来て、彼女自身につぶやくことが出来るものとなりました。

結婚生活において、大切な日はありません。一日一日が大切な時です。婚姻関係を結ぶ一人ひとりが、互いに愛するために、神様によって結び合わされているからです。それぞれが幸せになりたいと思っています。だから、結婚生活で人生のパートナーを幸せにするために、一生懸命努力しなければなりません。それは言葉で？ 笑顔で？ 優しくなでてあげることで？ 感謝の表現で？ 思い出を作ること？ でも、親切な行ない、よく聴くこと、思いやりが、結婚においてとても大切なことです。

幸せな結婚を作り上げることは、難しくはありません。ある人は言いました。「自分自身を忘れなさい」と。私なら「自分自身をわきまえなさい。あなたが何を求めているのかを十分知ること。そして、自分がして欲しいように、相手に優しくすること」と。毎日、出来る限り、少しずつ幸せを集めていってみませんか。夫と妻がお互いに、その子どもや家族に、そして、神様に思いや関心を寄せることで、幸せな人生が生まれるのです。

讃美歌 429

祈り 愛の神様。どうか私の結婚生活において、あなたとあなたの愛の中で成長することが出来ますように助けてください。そうすることで、相手に、あなたの愛を分け与えることが出来ますように。
イエス様のみ名によって。アーメン。

メアリー・オレール 1964年